

公共事業環境配慮書

農政部 農地整備課

事業名称		
事業名	県営中山間総合整備事業	
整理番号	R6-4	
事業の種類	ほ場の整備	
市町村名	上伊那郡 飯島町	
箇所名	日曾利地区	
事業年度	令和6年度～令和12年度	
事業概要		
目 的	営農条件の改善による営農経営の効率化	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	農業用排水施設整備 A=372m、ほ場整備 A=20.2ha、埋蔵文化財調査用地整備 N=1箇所、生産・販売・交流・農泊等施設整備 N=3箇所	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農地法の農地または採草放牧地 農振法の農業振興地域	県水環境保全条例の水道水源保全地区 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地
そ の 他	なし	
社会的要素		
留意すべき地域の概況		
交通の現況	事業区域内に国道、県道はなく、市道及び農道が位置している。	
土地利用の現況	平地及び丘陵である	
生活関連施設の現況	住居が点在している	
その他	特になし	
自然的環境要素		
環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある。 観光施設(キャンプ場)がある。
【大気汚染の防止】		
・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできる限り避ける。		
・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。		
【騒音、振動の防止】		
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできる限り避ける。		
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
水環境	留意すべき地域の概況	河川・湖沼に隣接する 農業用排水路が存在する。
【水質汚濁の防止】		
・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。		
【水循環の保全】		
・水田や地下水・湧水を保全する。		
河川管理者との協議を適切に行い、河川への流出抑制が必要な場合は、地下浸透等の抑制対策を検討する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	丘陵である
【改変面積の最小化】		
・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。		
野生動植物	留意すべき地域の概況	飯島町田園環境整備マスタープランにおける環境創造・配慮区域である 令和4年度に有識者へ聞き取り調査を実施した結果、長野県絶滅危惧Ⅱ類に指定されているウリカワ(オモダカ科)の生息が確認されている。
【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】		
・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変をできる限り避ける。		
【野生動植物の生息・生育空間の保全】		
・工事前に株又は種子を採取し、地区内の影響のない水田へ移植又は播種により植生を維持し、工事完了後、移植又は播種により植生を戻す。		
生物の生育・生息環境を考慮した工事計画を検討し、工事は複数工区に分けて段階的に実施する。		
【地域独自の生物多様性の保全】		
・車両、資機材、作業着、靴等を適切に洗浄し、外来種の持込み防止に努める。		

	景観	留意すべき地域の概況	中央アルプスを眺望できる位置である
		【すぐれた景観の保全】	
		・主要な眺望景観や自然・文化的景観を阻害するような建築物の立地をできる限り避ける。	
		【良好な景観の育成】	
	文化財等	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	
		留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある(日曾利、日曾利山田)
		【文化財等への配慮】	
		・埋蔵文化財を包蔵する土地は、町教育委員会等と協議・調査を実施し適切に対応をする。	
	廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
		・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
		【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
		・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【資源の有効利用】	
		・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。	
		【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
		・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	水環境	流域治水推進のため、河川への流出抑制対策(浸透側溝や浸透柵などによる雨水の地下浸透等)を可能な限り検討願います。	河川管理者との協議を適切に行い、河川への流出抑制が必要な場合は、地下浸透等の抑制対策を検討します。
2	野生動植物	当該地において、ウリカワのほか、同様に長野県絶滅危惧Ⅱ類に指定されているツチガエル、ホソミイトトンボ及びホンシュウカヤネズミの生息が確認されているため、事業による生育・生息環境への影響を回避又は最大限低減してください。	生物の生育・生息環境を考慮した工事計画を検討し、工事は複数工区に分けて段階的に実施します。

県営中山間総合整備事業 日曽利地区 計画平面図 S=1:2,500

